ナチュラルスタイル株式会社　http://www.natural-style-inc.com

ハンドメイドガラスの取扱いについて

津軽びいどろは硝子職人が一つひとつ手づくりするため、サイズ・色柄・容量・重さ等に多少のバラつきがございます。

取扱い上のご注意　この取扱い上の注意を良くお読みください。

津軽びいどろのガラス製品には、**一般のガラス**、**クリスタルガラス**、熱に対する耐性を高めた**耐熱ガラス**などの種類があります。

ガラスの種類 に関する注意

耐熱ガラスについての注意

耐熱ガラスは強化ガラスではありません。大切にお使いください。耐熱ガラス製品には用途区分があります。ご使用の前にそれぞれの「耐熱ガラス製品の取扱説明書」をよくお読みください。

クリスタルガラスについての注意

クリスタルガラスは耐熱ガラス、強化ガラスではありません。大切にお使いください。

ガラス食器 についての注意

使い初めは洗浄してください。密閉外装ではありませんので、ガラス食器の使い初めは中性洗剤などで洗ってください。

洗浄時の注意

ガラス食器は中性洗剤などで洗ってください。その際ガラスを傷つけるおそれのある研磨剤入りのスポンジ、金属たわし、クレンザーなどを使用しますと破損の原因になります。使用しないでください。
（ガラス食器に使用できるクレンザーもあります。品質表示などでお確かめの上ご使用ください。）

電子レンジでの使用禁止

「電子レンジ用」と表示されている耐熱ガラス製品以外は電子レンジで使用しないでください。

手洗いの際の注意

グラスの内面を洗う際は充分ご注意ください。
内側から力を入れてひねり洗いしますと、破損し思わぬケガをすることがあります。柄付きのスポンジのご使用をお勧めします。

ナイフ、フォーク、スプーンなどの投入禁止・保管禁止

ナイフやフォークやスプーンなどをグラスの中に入れたり、グラスをナイフやフォークやスプーンの保管用に使用しないでください。グラスを傷つけ思わぬ破損の原因になります。

食器洗浄機使用の際の注意

耐熱ガラス表記のある製品は、家庭用食器洗浄機がご使用頂けます。（メーカーの取扱説明書をご覧頂き正しく使用してください。）それ以外のガラス食器は手づくり品でデリケートな製品のため食器洗浄機は使用しないでください。

ガラスの傷の注意

ガラス製品は傷がつくと破損しやすくなります。ガラスどうしあるいは硬いものとぶつからないように扱ってください。また、擦りキズ等が付きますと目立ちますので、お取り扱いにご注意ください。

急激な温度変化による破損の注意

ガラスは急激な温度変化（特に急冷）で割れることがあります。ガラスが熱いうちに冷たいものを入れたり、ぬれたところに置かないでください。

積み重ねの注意

ガラスを積み重ねますと、破損したり外れなくなったりします。また、重ねてのご使用や保管はお避けください。

ガラス花器 についての注意

定期的に洗浄してください。

ガラス花器に長期間水を入れたままにしますと、水垢などがこびりつき落ちなくなりますので、適宜に洗ってください。
水の入った花器等を、電化製品やピアノ等の上に置かないで下さい。万が一水が漏れた場合、火事や事故の原因になることがあります。

灰皿 の使用上の注意

定期的に洗浄してください。

ガラス製の灰皿を長期間洗わないと、汚れが落ちにくくなりますので、適宜に洗ってください。

吸殻の火を確実に消してください。

危険ですので、吸殻をいっぱいためないで下さい。

※耐熱ガラス製器具について

家庭用品品質表示法における「法定品質表示」について

① 耐熱温度差が120℃以上400℃未満のものを「耐熱ガラス製器具」と称する。
②「耐熱温度差」とは、ガラスの部分を試料として一定の温度に定めた恒温器の中に30分間保持したのち、これを取り出して、直ちに冷水中に一分間浸したときにその試料が破損しない温度差。
③ 使用区分

	用語	使用区分	耐熱温度差
熱湯OK 熱湯を注いでも使用できます。	熱湯用	熱湯使用によって用いられる器物であって加熱器具として用いられないもの。	120℃
電子レンジOK 電子レンジで使用できます。	電子レンジ用	加熱調理用等に用いられるものであって、電磁波によって加熱する用途に用いられるもの。	120℃

取扱い上の注意

- 直火使用はできません。
- 熱湯を注いだ際や、加熱後は、熱くなっていますので持ち運びにご注意ください。
- 高い所から落とす等、急激な衝撃を与えないでください。
- 急激な温度差で割れることがあります。（調理の際は、外側の水分をふきとってご使用下さい。冷水での差し水はお避けください。
  ガラスの熱いうちにぬれた布でふれたり、ぬれた所に置いたりしないでください。）
- 洗浄の際は、研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーはガラスにキズをつけ破損の原因になりますので使用しないでください。
- 使用区分以外の使用は避けてください。
- 破棄はガラス瓶のリサイクルに混入しないでください。（素材が異なるため）

ナチュラルスタイル株式会社　http://www.natural-style-inc.com